



Nurse Letter

《ふれあい看護体験》

7月25日 13名の高校生が病棟で処置やケアを体験されました

＜参加学生の感想＞

- * 患者さんの**笑顔**や看護師の優しさに触れて温かい気持ちになった。自分もそれを他の人に伝えたい。看護師になりたい気持ちが強くなった。
- * 病院に来た時は見る事ができないことを今回見る事ができた。**笑顔**で接すると相手も**笑顔**になると思った。コミュニケーションが大切だと思った。
- * 看護師の仕事はとても難しいことだけど、やりがいのある仕事だと思った。



＜病棟看護師の感想＞ 北7病棟 宮前由美子

北7病棟には助産師と看護師を目指す2名の方が参加され、足浴や血圧測定などを体験されました。初めて行うことに目を輝かせ、患者さんとしっかり視線を合わせて会話をしていたのが印象的でした。

私自身、いつまでも初心を忘れず、看護することの大切さを改めて感じる事ができました。ぜひ素敵な看護職になってほしいです。



今回8名の高校生が、将来看護師になりたいという夢を持って参加されました。今回の体験でさらに看護師になる思いが強くなったとの意見が多くありました。私達看護師も、いつまでも目標とされる看護師であるよう**笑顔と看護技術の向上、そして自己研鑽に励みましょう**

妊娠と糖尿病研修に参加して

北4病棟 杉田安子

7/31と8/1に日本看護協会主催「妊娠と糖尿病」研修に参加しました。日本看護協会理事の福井トシ子氏や産科ガイドラインを作成した医師の安日一郎氏の講演を聴くことができ、充実した研修内容でした。

今回の研修で私が強く感じた事は、**妊娠糖尿病合併妊婦は将来糖尿病を発症しやすく、発症リスクを予防できるのは周産期に関わる助産師・看護師である**ということです。2011年産科ガイドラインが改正され、妊娠糖尿病がスクリーニングされるようになりました。それ以前に出産された方で3500g以上、2500g以下の児を生んだ経験のある方はもしかして妊娠糖尿病だったかも知れません。

『糖尿病』明日は我が身です。興味のある方、心配な方はいつでも北4階までどうぞお越しください。



看護には**笑顔**が大切だと改めて感じる感想です。笑顔の大切さを文献から紹介します。

カンザス大学のタラ・クラフト教授らの研究によると、ストレスを感じたあと、笑顔になると心拍数が下がることが判明した。

調査は169人の大学生を対象に行われ、学生たちを、笑っていないグループ、笑顔の口の形をキープするために箸をくわえたグループ、本当に笑っているグループの3つに分けた。学生たちに理由は知らせず、ストレスを引き起こすための作業を行わせ、研究者たちは学生たちの心拍数を計測。学生たちには、ストレスのレベルを自己申告で評価させた。

その結果、笑っていないグループと比較して、笑っていたグループ（箸の笑顔・本物の笑顔）は作業をしているあいだのストレスが少なく、ネガティブな感情も抱きにくいということが判明。とくに本物の笑顔のグループは、作業中の心拍数も低いことがわかった。(Gow!Magazine8月5日号より)「単なる笑顔であっても、私たちには想像できないほどの可能性があるのよ」マザーテレサの言葉です。

病棟トピックス～北7病棟～

2012年4月より診療報酬の改正に伴い、全ての四肢骨折の観血的手術（人工骨頭挿入術、人工関節置換術以外）後に骨癒合を促進させる目的で、**超音波骨折治療**として、**アクセラ**を実施しています。骨折部のずれが大きい場合や、周辺の筋肉や靭帯などが損傷している場合、細菌感染がある場合、糖尿病などの合併症がある場合、高齢者、喫煙者などは、難治化する傾向があります。超音波骨折治療法は、治りにくい骨折に対しても有効とされています。**超音波骨折治療法を行うと、新鮮骨折の癒合日数が40%近く短縮するといわれています。**

コストは**初回5000点**です。このアクセラは、術後主治医が治療部位をマーキングし、退院まで1日20分実施しています。痛みはありません。

当科において膝関節全置換術、股関節全置換術後は**深部静脈血栓症のリスクが高く、肺塞栓、心筋梗塞を発症する可能性が高**なっています。これを予防する為に、**アリクストラ**を**1日1回、10日間の皮下注射**を実施しています。アリクストラを施行することにより、膝関節全置換術後の血栓塞栓症の発生リスクが、65.3%から16.2%に低下するという報告があります。これと同等の効果の、Fxa(活性化血液凝固第X因子)を選択的に阻害する**経口抗凝固剤リクシアナ錠**という新薬が当院でも採用され、現在1例の患者に使用しています。今後医師、薬剤師と協同リクシアナ錠使用の検討をはじめています。

